

施策評価調書(26年度実績)

施策コード Ⅱ-4-(2)

政策体系	施策名	地域振興を進める人材の育成・確保	所管部局名	企画振興部	長期総合計画頁	105
	政策名	元気あふれる地域づくりの推進	関係部局名	企画振興部		

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②
取組項目	移住(IJUターン)促進のための 取り組みへの支援	地域における人材の育成と 人的ネットワークづくり

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する 取組No.	基準値		26年度			27年度	目標達成度(%)												
		年度	基準値	目標値	実績	達成度	目標値	25	50	75	100	125								
i 県の移住相談窓口への新規登録者数(人/年)	①	H21	89	157	209	133.1%	181													
ii おおいたツーリズム大学修了生数(人)	②	H19	22	192	197	102.6%	212													

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等		平均評価
i 達成	震災の影響等により、西日本・九州人気が続いているほか、県・市町村・関係団体が一体となったオール大分体制で取り組んだ結果、移住専門誌で県内自治体が大きく取り上げられるなど移住希望者の耳目を集めることとなり、目標値を達成した。		達成
ii 達成	平成19年度以降の修了生からの推薦や振興局の働きかけにより目標を達成した。		

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・移住・交流ポータルサイト「おおいた暮らし」による情報発信を増やすとともに、各部局はもとより市町村・関係団体との連携を深めることで、移住希望者に直接、県内の就職、就農情報を発信・相談する体制が強化された。
②	・講座に少人数のゼミ形式を取り入れることにより、受講生間に一体感が生まれ、ネットワークの構築や地域リーダーとしての基盤の醸成を図ることができた。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(26年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	27年度の方向性	
①	ツーリズム戦略総合対策事業	138,365	A	継続・見直し	11

【VI. 施策に対する意見・提言】

○「安心・活力・発展プラン2005」第2回発展部会（H26.10） ・地域を活性化するうえでは、地元住民も大事だが、外から人を呼び込み、交流を続けていけるかどうか重要な課題だと思う。	○「安心・活力・発展プラン2005」第2回発展部会（H26.10） ・若者版のリーダーカレッジを作ってみてはどうか。立場の違う様々な若者が集まり、地域の未来を考えていく人材を育てていくことが大事だと思う。
--	---

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・UIターン促進のため、都市圏に移住コンシェルジュを配置し、相談会も拡充するほか、移住・交流ポータルサイト「おおいた暮らし」などで大分県の魅力の情報発信を行う。 ・空き家バンクの情報充実や空き家を含めた住宅取得等の住居対策を推進する。 ・UIターンと小規模集落対策の連絡会議を統合し、県・市町村・関係団体の職員、集落支援員、地域おこし協力隊などが一体となったオール大分の取組をさらに充実・強化する。 ・おおいたツーリズム大学修了生など地域を元気にできる実践者による意見交換会等を引き続き実施し、地域のネットワークづくりの強化を図る。